

○提案内容

**(1)実現したい都市のビジョン**

本市は昭和40年代に大阪・京都の住宅都市として、全国的にもまれに見る人口急増を経験しており、今後、急激な高齢化の進行に伴う社会保障関係費等の増大や人口急増期に整備された公共施設・都市基盤等の老朽化などにより、これまでに経験したことがない様々な課題に直面することを想定しております。  
 本市では、こうした状況を打開していくためには、ICT等の新技術の活用が不可欠と考えており、今年度にはRPAを導入して市内部の業務効率化に取り組むなど、試行錯誤しながらも積極的に新技術の活用を図っているところです。  
 本市は、今後もAIや自動運転をはじめとした新技術の活用を検討しており、スマートシティの実現に向けた取組を推進することにより、持続可能な形での都市運営を目指していきたいと考えております。

**(2)新技術の導入により解決したい都市の課題**  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>本市では、鉄道駅が市域の中心部に位置しており、鉄道駅から市内各地へは、放射状に延びる市営バス路線が主な市民の移動手段となっております。                      特に、北部の丘陵地は高低差があるため、市営バスの利用が多くなっておりますが、当該地域は大阪・京都のベッドタウンとして昭和40年代の人口急増期に開発された住宅地であることから、今後は高齢化に伴い、バス停までの移動でさえ困難な方が増加すると想定しております。                      また、市営バス事業自体も通勤・通学客の減少等により、今後経営環境が一層厳しくなることが想定されており、市民の移動手段をどのように確保していくかが課題となっております。                      本市では、従来の手法による取組では課題解決が困難であると考えており、自動運転やAIなどの新技術を活用することにより、市民の移動手段を持続可能な形で確保していきたいと考えております。</p>	<p>(ア)</p>

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

- ・自動運転技術
- ・MaaS
- ・AIによる分析(市営バスにおけるICカードやバスロケによって得られるODデータの活用)
- ・その他

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

- ・自動運転などによる持続可能な新たな交通手段の確立
- ・市営バス事業において、利用促進などによる収入の確保、自動運転の導入などによる経費削減、ODデータを活用した持続可能で効率的な路線及びダイヤのあり方の検討

(5) その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
総合戦略部機動政策室	佐々木	072-674-7274	<a href="mailto:kidousei-82@city.takatsuki.osaka.jp">kidousei-82@city.takatsuki.osaka.jp</a>